

# スペシャル対談

慶大名誉教授・弁護士

## 小林節

2016年は安倍政権の暴走を止める勝負の年だ。夏の参院選の結果、自公を過半数割れに追い込めば、安倍首相は退陣を余儀なくされる。そのためには野党共闘が不可欠なのだが、なかなか進まず、国民はいら立ちを強めている。百戦錬磨の選挙の達人と理論派の戦う憲法学者のスペシャル対談。



### 国民の怒りは間違いない なく持続している

小林

—まず、2015年をどう総括しますか。  
**小林** 9月19日の暴挙まで国民の反対運動は大変盛り上がりました。やはり、安倍さんの異常性が際立ち、憲法が、9条が、議会制民主主義が、国民主権が危ないというところで、国民の中にあつた怒りと恐れが表に出てきたのだと思います。

**小林** 国会議員のひとりとして、議会制民主主義がまったく機能しなかったことは残念です。選挙で明確に国民と約束していない「新」安保法制を、しかもほとんどの人が憲法違反だと言っている中身を強行した。国民に対する背信行為です。多数決は否定しませんが、

数の暴力に対し、何もできなかった野党側の責任も非常に大きいと思っています。  
 —新安保法成立後、国民の怒りが少し引いてしまったかのように見えます。野党が安倍政権への対抗軸をつくれていることも大きいと思いませんか。  
**小林** いま私の手帳、この先6月までほとんど講演で詰まっています。つまり、参院選に向け、怒りは持続している。反対運動では、これまで外へ出たことのない学者や元裁判官だった法律家まで立ち上がった。子連れのママや学生たちも、みんないろんな議論をしな

# 我々が野党を包囲する まとまるまで追い込んでいく

### ベターな選択をするのは「野合」ではない

小沢

**小沢** 先生のおっしゃる通りで、僕は新党は現実的には難しいと思っています。統一薄方式、俗にいうオリブの木方式しかない。それは選挙の直前でもいいんですが、問題は候補者調整です。これが意外に難しい。  
**小林** 私は複数選挙区、つまり大選挙区と比例区は各党それぞれを出して戦って、1人区だけで協力すればいいぐらいに思っています。  
**小沢** 最善の策が新党、次善の策が統一薄とすれば、先生がおっしゃる候補者を1人に、というのは三善の策なんです。そこまでする必要はないと思います。候補者調整をするテーブルがないんです。個々にやりだすと、この人は民主系だ、維新系だとか探める。候補者調整は時間がかかるので、統一会派でも何でもいから調整のテーブルづくりを急がなければなりません。そこで共産党が方向転換して各党に声を掛けているんですが、みんな嫌がっ

記憶もある。そう簡単ではありませぬ。ですから我々が先陣を切る。野党の政治家を包囲するネットワークを1月にブチ上げる予定で、樋口陽一先生(東大名誉教授・憲法学者)らと一緒に、年齢、性別、分野もさまざまですが発言力がある200人くらいでまとまって、緩やかな応援団として野党を追い込んでいく。最後は「安倍政権を存続させるよりはいい」ということで、まとまると見えています。  
**小林** どうも、共産党が出てくると構えてしまう人が多いですね。先日出席した宇都宮でのシンポジウムのパネリストに共産党の県委員長がいたのですが、会場の年配の女性が立ち上がった。共産党は信用できない。あなたたちは自衛隊連憲、日米安保連憲と言っている。あの中国を見たら、あなたたちに国を委ねるわけにはいかない」と怒るんです。それで僕が、「共産党は独自の政策は凍結と言っているし、護憲派だから自衛隊は使うと志位委員長もはっきり言っています。安倍首相こそが、この国を戦争に持っている」としていいんです。共産党の方がいいに決まっています。共産党でしよう」と言うと、女性はストンと腹に落ちたようでした。「ごめんなさい」と納得していました。  
**小沢** 日本では野党が連携するとすると、すぐ「野合だ」「選挙目当ての都合合わせだ」と批判しますよね。あれもおかしい。この間のフランスの地方選挙を思い出して下さい。極右の「国民戦線」を排斥するため、いままで喧嘩していた右派連合と左派連合が協力したんですよ。

### 志位委員長は政治生命をかけている

小林

**小林** 公明党の山口代表は「連立合意の中に憲法(改正)は入っていない。自民党と公明党は別の党だから政策が違ふのは当たり前」と言っていました。政策が異なるのに連立を組むのは、権力をエンジョイするためなんですか。これこそ野合だなんて言うのは失礼です。  
**小沢** 志位さんとは、そこまで深い付き合いではありませんが、純粋な人柄にびっくりしました。党首会談をした際、お互いの事務局

野合じゃないですか。我々が求めている野党連携は、安倍首相と公明党によって破壊された憲法を回復するという最低限の大義です。野合だなんて言うのは失礼です。  
**小林** 私志位さんのことは疑う必要はないと思えます。もうルビコンの橋を渡った。政治生命をかけているんです。

あの夏の怒りは今も持続している



### 「新」安保法成立までの経緯

<2013>	7・1	集団的自衛権の行使容認を閣議決定	4・27	日米ガイドライン改定
2・7	<2015>	安倍首相の私的諮問機関(安保法制懇)設置	2・13	安保法制の与党協議開始
<2014>	4・26	安保法制懇が報告書	4・26	安倍首相訪米
	5・14	安保関連法案を閣議決定	5・14	衆院で審議入り
	5・26	衆院で審議入り	5・26	衆院本会議で可決
	7・16	衆院本会議で可決	7・16	参院本会議で可決、成立
	9・19	参院本会議で可決、成立	9・19	

生活の党代表

小沢一郎



こうすれば安倍政権は倒せる!

民主党は若いのに頭が硬直 小沢

「やはり連携のネックは最大野党の民主党です。ね。」

選挙が近づけば、民主党も目を覚ますと思いませんか。このまま安倍政治が続いていいのか、となれば、共産党の助けを借りても勝たなきゃいけない。共産党と協力するしか選択肢はないんです。民主党のずうずうしいところは、自ら協力を求めるのではなく、共産党が候補者を出さないでくれれば我々が勝てる、なんて言う人がいることです。小沢 民主党は年代の若い議員が多いのに、ものすごく頭が硬直しているように

「その点、自民の方がはるかにしたたかです。小沢 そりゃあ政権を取るために村山富市さんを首相に担ぎ、社会党内閣をつくらなくてはならぬ。党内には反対もあつたけれど強行した。手段を選ばないというこの善し悪しは別として、権力への執念が違っただけから長期政権なんです。野党はそこが全然ダメです。」

学者やシールズも入って「候補者調整委員会」 小沢

「でも野党が本気になるよ、ドリームチームがつくれるんですよ。安倍さんに代わり得る首相候補が野党にいるのか、とよく聞かれますが、岡田内閣だったんですが、岡田内閣は、東大卒の元官僚で、自民党代議士の経験もある。そしていまは毒気が抜け、国会

野党共闘で80議席以上取れる 与野党逆転で政治は変わる

の生き字引みたいになった国会最長老(勤続年数)の小沢さんが付いている。維新の党の松野代表と社民党の吉田党首は良き調整役。共産党の志位委員長も頭の良さ人柄の良さで調整役になる。そして維新の江田憲司さん(前代表)、橋本龍太郎首相の秘書官を務めたのに自民党と一線を画している。この頑固さと頭の良さは別格です。それから、社民党の福島瑞穂さん(前党首)もチームの中に置けば、表現力と訴える力が出ます。このドリームチームをいまの安倍内閣と比べてみて下さいと言っと、みんな納得するんです。小沢 いまの野党には、政権を取って自分たちの政策を執行するんだ、という強いエネルギーがないんですよ。結局、民主党政権のトラウマというか、役人に操られて何もできず失敗した、という諦めがあるんじゃないかと思う。

議員にも有権者にも民主党政権失敗のトラウマがありますね。自民党と、そしてそれと50年以上つながった役人と業界の鉄の三角形に手玉を取られた。しかし、だからといって、自民党が正しいという話にはならないはず。政権復帰した自民党は、以前より悪い政党になってしまったわけですから。一方、失敗によって、民主党の議員も賢くなりました。だから、今、国民も頭を切り替えるべきじゃない。小沢 神様仏様じゃないんだから、絶対的な正義や善はない。結局、選挙は相対的な選択。マシン政権に投票する以外にないんです。そういう意味で、国民は棄権しちゃいけない。14年の

総選挙では09年に比べ、実現環境ができています。やっぱり受け皿をつくらなきゃダメです。この票がどの党で、あれ野党に入れば、小沢 僕は、なんかかんやいんです。ただ、せかす人がいないと、候補者調整の実務は間に合わなくなる。小沢 シールズとかママの会など、これまで棄権していた層が今度選挙に行く

選ぶときの条件は一点、勝てる候補 小沢

「そうすね、参議院はいま自公が135議席。今度、野党が80議席以上取れば、自公の多数をひっくり返せる。これは本当に可能なんです。野党がまとまれば1人区ほど強くなりま

選挙では09年に比べ、実現環境ができています。やっぱり受け皿をつくらなきゃダメです。この票がどの党で、あれ野党に入れば、小沢 僕は、なんかかんやいんです。ただ、せかす人がいないと、候補者調整の実務は間に合わなくなる。小沢 シールズとかママの会など、これまで棄権していた層が今度選挙に行く

「僕も20以上取れる。07年、僕が代表だった民主党は20議席獲得しています。今回、望みが出てきます。候補者調整の基準は一点、勝てる候補ですよ。小沢 そう。絶対に情を挟んでダメ。僕は自民党の総務局長になって選挙を任された時、田中派(出身派)の会合には一切行かないで、仲間に頼り、仲間に頼る必要だと思いませんか。小沢 僕がまとまらないのは、本当にくだらない理由なんです。目先の利害や、好き嫌い。もっと先に宝の山が待っているのに、と思っただけ。小沢 民主党などがためにする。だから、無知な連立反対の根拠をこれまで一つ一つ真面目につぶしてきています。それからもう一つ、政治の力学とアカデミズムの力学と両方必要だと思いませんか。バカな壁を取り払ってあげないといけませんので。



性もあるわけだし。小沢 世論が民主党を追い込んでいくしかないです。例えば、党首クラスで候補者調整委員会というのをつくったらどうでしょう。学識経験者や若者も入れて欲しいな。小沢 それはいい考えですね。ある程度の連携ができれば、そういうところに先生方や市民団体の人も入って貰って、候補者調整委員会をやる。そうすれば、政党同士がエゴを出して揉めることもなくなる。小沢 老若男女だから、シールズもママの会も入ると

2016年の主な政治日程

1・4	通常国会召集	5・26	伊勢志摩サミット(～27)	7月中	参院選
1・24	沖縄・宜野湾市長選	5月末	消費税10%の17年4月実施を決定?	7・25	改選参院議員の任期満了
2月中	15年10～12月期GDP速報	6・1	通常国会会期末	8・5	リオ五輪開幕(～21)
4・24	衆院北海道5区補選	6・19	「18歳選挙権」施行	11・3	日本国憲法公布70周年
5月中	16年1～3月期GDP速報			11・8	米大統領選

